



▲趣味の合唱を生かして知的障害者更生施設花園学院のクリスマス会で。右端が石澤さん

や募金活動と、ボランティア活動を続けてきました。平成14年に北海道・アルバータ州ボランティア交流使節団に参加した際に、カナダのアルバータ州の障がい者施設の施設長が言った言葉が忘れられないそうです。「ここでは『知的障がい』という言葉は使いません。『Development(発達)』という言葉を使います。彼らだっただけ成長しているのです」。石澤さんも7年前から知的障がい者の施設を毎週訪れており、実感としてよく分かったと言います。

★ボランティアを考えている人へのメッセージ★

「どんな状態でも尊敬を大事にしてあげたいという気持ちと、返ってくる笑顔がボランティアを続けている原動力です」と石澤さんは笑顔で話してくれました。

芝居でお年寄りを楽しませる

仲田 哲夫さん(77)



▲奥さんも子育てボランティアなどの活動中

「平手造酒も今じゃやくざの用心棒、人生裏街道の枯落葉か…」などのせりふも格好良く、太刀さばきも鮮やかに「大利根無情」を浪人姿で演じる仲田さんは、劇団「芝オケがつてん一座」に所属し、高齢者施設などを中心に慰問ボランティアをしています。チャンバラ劇が基本の、歌あり芝居ありの楽しいステージです。

長続きのこつはまずは自分が楽しむこと

衣装も小道具も自前で用意し、せりふを覚えるのが年々大変になってきたと話す仲田さん。それでも「拍手や声援をもらうとうれしいし、何より、人生がより楽しくなった。こんな老後が自分にあつたのかという感じ」と言います。「たとえ今は認知症になつていても素晴らしい人生の経験者。ささやかだが楽しんでほしい。芝居をしている自分たちが楽しめる場所を提供してくれているという感謝でいっぱい」そんな気持ちで演じているそうです。

★ボランティアを考えている人へのメッセージ★

「今が青春！」と言い切る仲田さん。「年を取ると1年が10年の値。今できることは今やらなきゃ」と話してくれました。



▲昨年9月の手稲区のグループホームでの公演の様子。入所者を大いに喜ばせました。

ボランティア活動を始めたら、こちらへご相談を

西区社会福祉協議会

西区琴似2条7丁目西区役所1階 TEL641-2400内線451

ボランティア活動に関する相談や情報提供、ボランティアの登録のほか、区内の実情に詳しい職員が、ボランティア活動をしたい方と受けたい方の仲介を行います。

●ボランティアサロン●

ボランティアに関心のある方や実際にボランティア活動をしている方の交流の場、身近なテーマで福祉の情報を提供する場としてボランティアサロンを開催しています。興味のある方はぜひお気軽に上記まで連絡の上、ご参加ください。

※次回の開催日は未定。お問い合わせください。

札幌市ボランティアセンター

中央区北1条西9丁目リンケージプラザ2階 TEL219-1737  
ホームページ <http://www.sapporo-shakyo.or.jp>

ボランティア活動に関する相談や情報提供、活動保険の受け付けのほか、ボランティアセンター登録団体には、活動室や印刷作業室、活動機材の貸し出しなどのサービスを行っています。

札幌市ボランティア研修センター

中央区北1条西9丁目リンケージプラザ2階 TEL223-6005  
ホームページ <http://www.sapporo-shakyo.or.jp>

ボランティアの担い手となる人材の育成と、ボランティア活動のための基礎知識や実践的な技術のさまざまな研修を実施しています。

これから申し込みができるものについては、本誌16ページを参照してください。